

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成25年5月9日(2013.5.9)

【公開番号】特開2012-205875(P2012-205875A)

【公開日】平成24年10月25日(2012.10.25)

【年通号数】公開・登録公報2012-044

【出願番号】特願2011-249343(P2011-249343)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】平成25年3月22日(2013.3.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数の操作手段と、

演出を少なくとも表示可能な第一の領域と、

を備えた遊技台であって、

前記第一の領域は、第一の手段に設けられたものであり、

前記第一の手段は、第二の領域を少なくとも含むものであり、

前記複数の操作手段のうち少なくとも一つは、第一の操作手段であり、

前記複数の操作手段のうち少なくとも一つは、第二の操作手段であり、

前記第一の手段は、前記第一の操作手段と前記第二の操作手段との間に設けられたものであり、

前記第一の手段は、前記第一の領域と前記第二の領域のうちの少なくともいずれかの領域によって、遊技者が少なくとも触覚により位置を確認する際の補助を可能としたことを特徴とする遊技台。

【請求項2】

請求項1記載の遊技台であって、

第三の領域を備え、

前記第三の領域は、第二の手段に設けられたものであり、

前記第一の領域よりも前記第三の領域の方が大きいことを特徴とする遊技台。

【請求項3】

請求項2記載の遊技台であって、

前記第三の領域は、演出を少なくとも表示可能な領域であること

を特徴とする遊技台。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上記目的は、
複数の操作手段と、
演出を少なくとも表示可能な第一の領域と、
を備えた遊技台であって、
前記第一の領域は、第一の手段に設けられたものであり、
前記第一の手段は、第二の領域を少なくとも含むものであり、
前記複数の操作手段のうち少なくとも一つは、第一の操作手段であり、
前記複数の操作手段のうち少なくとも一つは、第二の操作手段であり、
前記第一の手段は、前記第一の操作手段と前記第二の操作手段との間に設けられたもの
であり、
前記第一の手段は、前記第一の領域と前記第二の領域のうちの少なくともいずれかの領
域によって、遊技者が少なくとも触覚により位置を確認する際の補助を可能としたこと
を特徴とする遊技台
によって達成される。